



第三十号

# 第3回執行委員会①

1月30日(火) 13時～ 地本会議室

8名が集まりました。運輸区統合同分会ではあるものの、実質車掌だけの集まりになってしまっていることから、主な議題が車掌分科会としての「ダイ改等に関する申し入れ事項」の確認となりました。

竜崎分会長より、簡単なあいさつの後、この間の経過(別枠)今後の予定などの報告(別枠)がありました。

### 申し入れ事項の確認

以下の申し入れ事項について、2月5日(月)、支社団交

### 経過報告

- 10月19日・第2回執行委員会
- 11月29日・運協定期委員会
- 12月21日・提案団交
  - 22日・行路、交番提案
- 1月16日・ダイ改関係申し入れ



### 今後の予定

- 2月5日・ダイ改関連の団交
- 3月2日・拡大地方委員会
- 3月9日・春闘総決起集会
- 3月16日・ダイヤ改「正」

を行います。

- ① 習志野運輸区行路に、その他時間指定の対象行路がない理由について
- ② 行路分割後の労働時間指定の考え方について
- ③ 要員関係(各区所、1ヶ月平均乗務日数等)
- ④ 成田統括センターにおける指揮命令系統、勤務指定、教育・訓練に関すること
- ⑤ 佐倉、銚子(車掌)、蘇我(運転士)の交番所要数の考え方について
- ⑥ ダイヤ改「正」の内容を社員(組合)、利用者(自治体)に事前説明すること
- ⑦ 特急利用に関する変更は旅客通知を強化すること
- ⑧ えきネットスマホ画面に関する教育・訓練の強化
- ⑨ カスタマーハラスメント対応の教育・訓練の強化

## うたてっ ノススメ②

恋の終列車 (ザ・モンキーズ) 1966年8月

Last Train To Clarksville (The Monkees) 昭和41年

Take the last train to Clarksvill.  
And I'll meet you at the station.  
You can be there by four thifty.  
'Cause I made your reservation.  
Don't be slow.  
Oh, no.no,no, Oh,no.no.no  
(概訳)

終電車でクラークスビルに来て！  
そしたら君と駅で会うんだ  
君は4時半には駅にいて  
そういう約束をしたよね  
遅れないでね ああ、いやだ・・・

だって僕は朝には出発しなくちゃ  
君にもう一度 会わなくちゃ  
もう一度 夜を一緒に過ごすんだよ  
朝僕が乗る列車が来るまで  
そしたら僕は行かなくちゃ いやだ

イギリスのビートルズの人気をアメリカでもと、レコード会社が437名ものオーディションを行い、コンピュータによって選ばれた4人組。実際演奏が出来るのは1人だけだったが、ただビートルズのようなアイドル性があり、歌と演技が出来れば OK という巨額を投じた会社の目論見は大当たりで、毎週のドタバタ喜劇のTVドラマ、その中で披露される曲が大受けに受け、日本でもかなりの人気を誇るようになった。

曲は殆ど職業作家とスタジオミュージシャンによるものだったが、聴く方もそんなことはどうでもよく、曲も歌も演奏も素晴らしく、個人的にも大好きなグループ。

この曲はデビュー曲で、代表曲のひとつだが、最後の夜を「君」と過ごしたいという切実な願いを電話で訴えているという設定？歌詞の意味が分からない内は、ひたすら楽しそうな曲にしか思えなかったが、詞を読むと「君」の反応が今ひとつなのか、というより間に合わないことが既に分かっている状況で、むしゃくしゃしている様子が伝わってくる。途中数回出て来る「And I don't know if I'm ever Coming home (もしかするともう家に帰れないかもしれない)」というため息まじりのつづやきのような歌唱に、この当時の激化していくベトナム戦争の現実が覆いかぶさってくる。若者たちの幸せな将来を、どれほど戦争ってやつは犠牲にしてきたんだろう。そしてそれは現在までも続いていることに、改めて心が痛んだ。

イントロにも使われた特徴的なギターリフは、ビートルズの「Paper back writer」のエンディングにヒントを得たとのこと。

# 以上、誠意ある回答を求めます!!!